

## 満洲語文語における疑問詞+ciについて : 『満文金瓶梅』を資料として

早田, 輝洋

<https://doi.org/10.15017/2332606>

---

出版情報 : 文學研究. 85, pp.123-149, 1988-02-29. 九州大学文学部  
バージョン :  
権利関係 :

# 満洲語文語における疑問詞+ci について

—『満文金瓶梅』を資料として—

早 田 輝 洋

0. 満洲語文語において、助詞 ci は通常「奪格」（「從格」「出發格」とも）の助詞とされ、「から、より」のごとき意味を持っているものと記述される。通常の名詞+ci の場合はそれでよいのであるが、疑問詞+ci の場合についても多くの近代辞書は一般に「奪格」としての訳語、或は説明を与えている。しかし、筆者が『満文金瓶梅』gin-ping-mei bithe（康熙47年【1708】序）で見た限りでは、疑問詞+ci の場合は、「奪格」の意味を持つと解される用例はきわめて少なく、むしろこの形は通常その疑問詞の複数形に当る、と言うべきものようである。

このことは前から疑問に思っていたので、1984年春北京でチャプチャル出身の錫伯族の一青年を相手に、現代口語満洲語とも言うべき錫伯語を調査していた折、彼に weci は we の複数形ではないか、と質問したが、彼からは否定的な回答しか得られなかった。質問の仕方が拙劣であったと思うが、相当多数入手しえた錫伯語印刷物にも、よく見ているわけではないが、今のところ複数を思わせる weci は無いようである。現代錫伯語では、「から、より」の意味では ci は普通用いられず、その意味では専ら deri が用いられる。助詞としての ci は方向格 ici 「へ」の意味でしか用いられていない。「誰々」の意の weci は、清朝時代には『一百二十老人語録』や『満漢成語对待』（久保1985）その他の文献にも有るようである。

なお、『満文金瓶梅』の真の底本は竹坡本系という以上には不明であるが、ここでは手元の康熙乙亥【1965年】臯鶴堂刻本張竹坡評点「天下第一奇書金瓶梅」により漢文を参照する。満洲語の転写は Möllendorff に従うが、スベ

ースに先立たれた付属語形の字素 i (属格・具格助詞) は -i で表す。以下に、weci, yaci, aici の順に見て行きたいと思う。

## 1. WECI

1. 1. 網羅的ではないが、今までの辞書・文典などの記載の若干を見てみよう。

(a) 大清全書 (康熙22年【1683】序)

是誰。那幾個。coohai ejente weci, 領兵者是那幾個。兵主是誰。

(b) 御製清文鑑 (康熙47年【1708】序)

yaci sere be, weci sembi.

(c) 滿漢字清文啓蒙 (雍正8年【1730】序)

是誰。又自誰。(3卷57丁表) 是那一个。(4卷4丁裏)

(d) 清文彙書 (乾隆16年【1751】初刻)

比誰

(e) 御製增訂清文鑑 (乾隆36年【1772】序)

自誰【滿洲語の説明は御製清文鑑と同じ】

(f) 御製五体清文鑑【藏・蒙・回語の転写は田村等 (1966-68) による】

藏 su las, su lai.

蒙 kenese.

回 kimdin.

漢 自誰

(g) 三合便覽 (乾隆45年【1780】序)

自誰 kenese

(h) 清文補彙 (乾隆51年【1786】序)

自誰。誰們。舊亦有

(i) 重刻清文虚字指南編 (光緒20年【1894】序)

bi weci eberi, 我比誰不及

teike teisulehengge, weci. 将纔遇見的是誰人 (上5丁表)

(j) 韓清文鑑

nuy gey ro sye 自誰 yaci

(k) Gabelentz (1864)

wer

(l) Zacharov (1875)

predlozh. pad. ot: WE; ot kogo? ot kakogo? v sravnenii s kem, napr. COOHAI EJETE WECI, ot kakogo nachaljnika vojsk?

(m) 羽田 (1937)

誰から. 誰より

(n) Hauer (1952-1955)

(WE+CI) von wem? welche?

COOHAI EJETE WECI die Heerführer sind welche? (D 【大清全書】)

(o) 田村実造・今西春秋・佐藤長 (1966)

誰から. 誰よりも

(p) Cincius (1975-1977)

ot chego, s kogo, ot kakogo, v sravnenii s kem;

(q) Norman (1978)

ablative form of WE

(r) 烏拉熙春 (1985)

weci (代) 誰 (p. 293)

このciは「から, より」の意味も持っているのであるから, 多くの辞書が「自誰」「比誰」を載せているのは尤もなことであるが, 清朝時代の辞書では少なくとも『大清全書』と『清文補彙』はweciが複数を表すことを明示している。即ち, 『大清全書』の「那幾個」は《どれどれ, 何々, 誰々》であり,

例文の「coohai eje<n>te weci 領兵者是那幾個」は、《指揮官は誰々だ?》を意味する。Zacharovはこの例文を ot kakogo nachaljnika vojsk? 《どの指揮官(単数)の者だ? どの指揮官(単数)に属するんだ?》と訳しているが、Hauerは die Heerführer sind welche? 《指揮官(複数)は誰々だ?》と正しく訳している。

『清文補彙』には、「自誰」《誰より(も)》の他に「誰」の複数形「誰們」《誰々》を挙げている。

ただ『清文啓蒙』には単数を思わせる形「那一个」が現れている。『清文啓蒙』の時代(雍正8年【1730】序)に既に「那一个」は複数についても使われていたのであろうか。或はこの時代になると、もう weci は単数にも使われていたのか。辞書・文典以外の実例の使用例を調査すべきであるが、今回は康熙47年【1708】序の『滿文金瓶梅』しか調べる余裕がなかった。

上に見るように、清朝時代の辞書にはかなり適切な訳が付されている場合もありながら、その一方で、場面によっては適切な訳になりうるにしても非常に曖昧な訳語が付されているものが多い。

しかし問題はやはり近代の辞書に有ると思われる。「より、から」の意の場合を別にすれば、weci の複数用法を明示しているのは Hauer だけのようなのである。

## 1. 2. 『滿文金瓶梅』における weci の全用例

いわゆる奪格用法をなしている weci の用例は、次の一例しか見いだせなかった。

- (1) wang-po hendume,      nainai si      WECI      sure genggiyen  
王      婆が申しますには「奥様 あなた様は 誰よりも聡      明  
akū.

じゃありませんか(直訳: 誰より聡明じゃないんですか)」

(76回30丁裏) 婆子道, 好奶奶, 你比那個, 不聰明

この1例以外の weci 13例はすべて奪格用法とは考えられない。この weci 13例に対する康熙乙亥本金瓶梅の漢語を見るに、以下の如くになっている。

那両箇 4, 那幾個 (箇) 3, 誰 3, 那幾位 2, 那四個 1

これらを用いた疑問文は答に複数を予期している場合に用いられ、回答文は複数の人、或は物を述べている。

品詞としては、独立の代名詞用法のもの、連体用法のものが見られる。

独立用法のものは主格用法と対格用法が見られた。iで終るからであろう、いわゆる属格の-iの付いた例は見られなかった。連体用法としては、そのままの形で名詞に前置される。

以下に weci の全用例、即ち主格代名詞用法10例、対格代名詞用法2例、連体用法1例、計13例を示す。用例はすべて前後を省略して挙げるが、前後の付いた用例を本論文末第5節に付しておく。

### 1. 2. 1. 主格代名詞用法

- (2) suwe WECI ubade jihebi. (15回18丁表)  
お前達 誰々が ここに 来ているんだ? 你那幾箇在這裏
- (3) enenggi uculehe juwe niyalma WECI bihe, (16回3丁裏)  
今日 唄った 二人は 誰々 だったんだ? 今日唱的是那両箇
- (4) juleri WECI jihebi. (32回8丁表)  
表の方は 誰々が いらしてるの? 前辺有誰来了
- (5) suweni dolo WECI šeng, dan uculembi, (36回10丁表)  
お前達の中で 誰と誰が【各々】 生と 且を唄うんだい? 那両箇是生且
- (6) WECI tubade bi, (39回22丁裏)  
誰々が あそこに いるの? 今日有那幾個在那裏
- (7) jai WE CI bi. (61回22丁裏)  
他に 誰々が 来るんです? 還有那幾位

- (8) WECE tede gucu arame buda jembu. (63回 2 丁表)  
 誰々が あの人の お相手をして ご飯を 食べるの? 那幾個陪他吃飯
- (9) ere mudan de WECE genembi. (66回 2 丁表)  
 今 度 は 誰々が 行くんですか? 這遭把身那兩位去
- (10) jai geli WECE bi. (68回 4 丁表)  
 ほかに 誰々が 来るんだ? 還有誰
- (11) duin nofi serengge WECE. (72回40丁裏)  
 四 人 てえのは 誰々です? 那四個

1. 2. 2. 对格代名詞用法

- (12) enenggi agui sarin de WECE be solihabi. (31回21丁裏)  
 今日 兄貴の宴会には 誰々 を お呼びになりました?  
 今日哥席間, 請那幾位客
- (13) enenggi gajihangge WECE. (42回10丁表)  
 今日 呼んだのは 誰々だい? 今日叫的是那兩個

1. 2. 3. 連体用法

- (14) piyoo bithe de geli WECE gebu bi. (51回15丁表)  
 書付けには ほかに 誰々の 名前が 有ったんだい?  
 票上還有誰的名字

上に見るように, weci に関しては, 『満文金瓶梅』の用例からしても, 清朝時代の辞書や Hauer に明記されているとおり, 複数形であると解して問題ないと思われる。

2. YACI

yaci は疑問詞 ya に ci が付いたものであり, ya の奪格の意味が有ることに

は問題ないであろうが, weci の場合と同様, 複数の意味を有するかどうか  
問題である。

2. 1. weci の時と同様に先ず既成の辞書・文典の類の記述を見てみよう。

(a) 御製清文鑑 (康熙22年 【1683】 序)

weci sere gisun de adali. jai geren jaka be fonjimbihede, inu yaci  
jaka sembi.

(b) 満漢字清文啓蒙 (雍正8年 【1730】 序)

是那个。又自那个。(3-57a)

(c) 清文彙書 (乾隆16年 【1751】 初刻)

yaci jaka 那来許多物乃問衆物之詞也。

(d) 御製增訂清文鑑 (乾隆36年 【1772】 序)

從那箇【満洲語の説明は御製清文鑑と全く同じ】

(e) 御製五体清文鑑【藏・蒙・回語の転写は田村等 (1966-68) による】

藏 gang las, gang lai.

蒙 alinasa.

回 kaisidin.

漢 從那箇

(f) 三合便覧 (乾隆45年 【1780】 序)

從那箇 alinasa

(g) 韓清文鑑

e n a y gey ro sye 從那箇【満文は御製清文鑑と同じ】

(h) Gabelentz (1864)

welcher? welches?

(i) Zacharov (1875)

sx. YA CI; predlozh. pad. ot: YA. otkuda, iz kakogo mesta?

v sravnenii s chem, sx. WECI, ot kogo? v sravnenii s kem?

(j) 羽田 (1937)

誰から. 何から YACI JAKA どの物から

(k) Peeters (1940)

Mit *ya* werden gebildet *yaci*, welcher, *yaka*, wer?

(l) Hauer (1952-1955)

(YA+CI) von welchem? woher?

YACI JAKA von wem ist die Sache? woher ist das Ding?

(M 【御製増訂清文鑑】)

(m) 田村実造・今西春秋・佐藤長 (1966)

誰から. 誰よりも. 何から. 何よりも.

*yaci jaka* [多数の物のうち] どの物から

(n) Cincius (1975-1977)

1) *otkuda*, 2) *v sravnenii s chem, s kem*;

(o) Norman (1978)

YA plus the ablative article CI, from where?

YACI JAKA where did all these things come from?

『御製清文鑑』の *yaci* の説明は, *weci sere gisun de adali. jai geren jaka be fonjimbihede, inu yaci jaka sembi.* 《*weci* というのと同じ。また多くの物を問うときにも *yaci jaka* と言う。》となっている。即ち, *weci* は《誰々》であるから, *yaci* は「《誰々》というのと同じ」であり, また「人」だけでなく「物」についても複数個の場合, *yaci* を使えるので「*yaci jaka* 《どれどれの物》と言える」と言っているのであろう。

『清文彙書』では, この *yaci jaka* を「那来許多物」と訳し『御製清文鑑』の説明を「問衆物之詞也」と訳している。「那来許多物」は現代語で解する限り「(この) 沢山の物はどこから来たんだ?」となるようであるが, 『満文金瓶梅』の用例から見ると「何処から来た沢山の物?」, むしろ「どの複数個の

物?」と解したくなる。勿論 yaci には、ya の奪格用法「どれ(誰, 何処)から」の意味が有り得るであろうが、問題は weci の場合のように、奪格用法の他に複数用法が有るかどうかが、ということである。

Hauer (1952-1955) は、*yaci jaka von wem ist die Sache? woher ist das Ding?* 《それは誰の? どちらから来た物?》と単数形で訳しているが、Norman (1978) は、この yaci jaka を *where did all these things come from?* 《これらの品は何処から来たのだ?》と複数形で訳している。Hauer は奪格用法の yaci として訳したものであり、jaka を単数にした。Norman は『清文彙書』の「那来許多物」を現代漢語の観点から訳して複数形にしたのであろう。

羽田は「どの物から」、田村・今西・佐藤も「[多数の物のうち] どの物から」と訳を付しているが、これが yaci に付された訳語ではなく、yaci jaka の訳語である点、なかなか理解し難いところである。

下に見るように、『満文金瓶梅』の用例からしても如何なものであろう。

一般に、yaci N 或は ya ci N (N は名詞) が、羽田や田村・今西・佐藤のように「どの N から」の意と解し得る例が有るか否かに注目し、さらに weci の場合のような複数用法が認められるか否かを考えてみよう。『満文金瓶梅』の用例をすべて見てみたい。

## 2. 2. 『満文金瓶梅』における yaci の全用例

6例すべて連体用法であり、それに当る康熙乙亥本金瓶梅の漢語は以下のとおりであった。

那幾位 3, 那幾個 1, 那幾家 1, 那兩個 1

以下簡単に示す。

(15) ama enenggi YA CI hafasa be solifi sarilambi.

旦那様は 今日 どちらの お役人衆をお招きして 宴会をなさいますの?

(32回 7 丁表) 爹今日請那幾位官客吃酒

(16) YACI haha juse tubade bi.

どの 小者どもが そこに いるんだ? (35回33丁裏) 那兩個小厮在那里

(17) si-men-king donjifi hendume, enenggi sarin de YACI hehe antaha

西門慶は 聞いて, 「今日の宴会には どの 女のお客さん

sa bihe.

方が 来たんだい」

(41回11丁裏) 西門慶聽了道, 今日酒席上有那幾位堂客,

(18) si kemuni YACI ambasa -i boode feliyembi.

お前さんはいつも どちらのお大人方 の家に入出入りしているんだい?

(69回 2 丁表) 你常在那幾家大人家走跳

(19) YA CI hehe antaha sa be soliha bihe.

どちらの 女のお客様方 を お呼びになったの でしたの?

(79回 8 丁裏) 請了那幾位堂客

(20) YACI hehesi be gajifi uculebumbi,

どの 女ども を 呼んで 唄わせましょうか?

(94回26丁裏) 下辺叫那幾個唱的上來通酒

さて6例しかないのであるが、この例のうちのどれかが羽田や田村・今西・佐藤のいうように「どのNから」と解し得るであろうか。(15)「どのお役人衆からをお招きして」は意味をなさない。(16)「どの小者どもからそこにいるんだ?」、(17)「どの女のお客さん方からが来たんだい」、(18)「どのご大家からに入出入りしているんだい?」あるいは「どのお大人方からの家に入出入りしているんだい?」、(19)「どちらの女のお客様方からをお呼びになった」、(20)「どの女どもからを呼んで」もすべて意味をなさない。

yaci Nを「どのNから」と解することは、少なくとも『満文金瓶梅』の用例では明らかに無理である。

では、「どれ(誰, 何処)からのN」はどうであろうか。weciが僅か1例(1)にせよ, 明らかにweの奪格用法として用いられるように, yaciも奪格用法があって不思議でない。上の例でも「どちらの」と訳しうる場合がかなり有るように, 「どこ(から)のN」と解して解せなくもないように思われるものの, やはり適当ではない。先ず(16)の例では「何処からの, 何処の出自の, 何処に属する」の如き意味には到底なりえない。主人公の西門慶自身が自分の家中の小者のうちの誰々であるかを問うている場面である。その上, 原文はすべて「那幾」「那両」等であり, すべて明らかに複数対象を指示している。満文でもこの6例のyaciの後に来る名詞は, hafaSA(15), haha juSE(16), hehe antaha SA(17), ambaSA(18), hehe antaha SA(19), heheSI(20)というようにすべて複数形名詞である。即ち, weciがweの複数であるように, このyaciは, 6例ともすべてyaの複数「どれどれ(誰々, 何処々)の」と解すべきものと思われる。

満洲語文語においては, 複数を表す数量詞は「複数形」の名詞と共に起しないが, yaciの如きものは数量詞とはいえないし, 一般に代名詞(特に人称代名詞)は普通の名詞とは別物と考えられる。他の言語においても, 人称代名詞はかなり名詞と違う様相を呈しているものがある。英語では名詞に格の指標が無いが, 人称代名詞には有る。日本語では複数の対象を指す名詞の複数形は義務的でないが, 人称代名詞では複数形が義務的である, 等。

尚, ya Nの場合のNは, 『満文金瓶梅』の範囲内では, 意味的には一般に単数であり, 形式的にはすべて所謂単数形である。

### 3. AICI

『満文金瓶梅』においてciが後接する疑問詞としては, 上に見たweとyaの他にaiが僅か1例ながら見いだされる。このaiciも上のweciやyaciのようにaiの複数を表しているのかどうか見てみたい。

3. 1. 既成の辞書・文典類の記述。
- (a) 御製清文鑑 (康熙47年 【1708】 序)  
 ududu hacin be barabufi fonjimbihede, aici baita, aici jaka sembi.  
 ya ci hacin sere gūnin.
- (b) 清文彙書 (乾隆16年 【1751】 初刻)  
 将許多様事東西攪和一處問的口气即 aici baita aici jaka  
 与 ya ci hacin 之意同。
- (c) 御製增訂清文鑑 (乾隆36年 【1772】 序)  
 何様 【滿洲語の説明は御製清文鑑と同じ】
- (d) 御製五体清文鑑 【藏・蒙・回語の転写は田村等 (1966-68) による】  
 藏 gang gi, ganggi.  
 蒙 yagūn nu.  
 回 nimadin.  
 漢 何様
- (e) 三合便覧 (乾隆45年 【1780】 序)  
 何様 yaGun u
- (f) 重刻清文虚字指南編 (光緒20年 【1894】 序)  
 teniken tunggiyehengge, aici, 方纔拾着的是什么 (上卷5丁表)
- (g) 清文接字 (同治5年 【1866】 跋)  
 由什么出身 aici beye tucike,
- (h) 韓清文鑑  
 misi ges 何様 【滿文は御製清文鑑と同じ】
- (i) Gabelentz (1864)  
 warum soviel? wie vielfach?
- (j) Zacharov (1875)  
 sx. AI CI, YACI HACIN; iz kakogo roda? kakogo sorta?  
 kakoj? dlja chego? kakim obrazom?

(k) 羽田 (1937)

如何な風の. 如何な様子の

(l) Hauer (1952-1955)

(AI+CI) wovon? welcherlei?

AICI BAITA welcherlei Angelegenheit? (H 【清文彙書】)

AICI HACIN welcherlei Art? (H 【清文彙書】)

AICI JAKA welcherlei Sachen? (H 【清文彙書】)

(m) 田村実造・今西春秋・佐藤長 (1966)

どんな風の. どんな様子の

(n) Norman (1978)

what sort of ...? AICI JERGI? what sort of?

(8) 烏拉熙春 (1985)

aici 什么样 詢問樣態 做定語 aici niyalma teni acambi

什么样的人才合適 (p. 57)

aici (代) 什么样的 (p. 256)

aici について、『御製清文鑑』の説明, ududu hacin be barabufi fonjimbihede, aici baita, aici jaka sembi. ya ci hacin sere gūnin. 《種々の事物を一緒に混せて問うときに aici baita, aici jaka と言う。ya ci hacin という意味。》というのも「何々の, どのような (物, 事)」ということであろう。これを『清文彙書』では「將許多様事東西攪和一處問的口气即 aici baita aici jaka 与 ya ci hacin 之意同。」と訳している。

『御製清文鑑』の説明および『清文彙書』の訳は、例によって曖昧模糊としているが、残念ながら『満文金瓶梅』には aici の用例は一つしかなく, weci や yaci と平行して複数を (も) 表すと言えそうではあるが、明言することは困難である。

### 3. 2. 『満文金瓶梅』における aici の全用例。

次の例しか見いだせない。

#### (21) AICI doroi jaka,

どんな 贈物だ (贈物は何々だ)? (74回 9丁表) 是什麼礼

上の疑問文に対する回答文は確かにあれこれ色々な種類の品物を列挙している。「どんな」と訳せる aici の満洲語の意味は「何の様な」ではなく、「何々だ? 何々の?」なのかもしれない。もっと多くの用例を調べてみたいものである。

### 4. まとめ

表記としては、多くの場合、疑問詞と ci が続けて書かれているが、上例の (7) (10) (15) (19) のように間にスペースを置いているものもある。スペースの有無による意味的・文法的差異はないようである。

aici について用例が乏しすぎる恨みはあるが、『満文金瓶梅』においては、疑問詞+ci は、通常の奪格用法以上に ci の無い形の複数形として用いられている、と考えると良いように思われる。即ち次の如くになる。

we 誰?	weci 誰々 (の)?
ya どれ? どの?	yaci どれどれ (の)?
ai 何 (の)?	aici 何々 (の)?

即ち、満洲語文語では日本語と同様に、種々の付帯条件はあるものの、複数の対象物を指す代名詞は原則として複数形が用いられると考えられる。

奪格的な ci が複数形に用いられるということ、我々はすぐ partitive 的なものを想起するのであるが、少なくとも『満文金瓶梅』におけるこれらの用例を、

共時的に partitive と解釈するのは無理であろう。満洲語文語において他に何等 partitive と解すべきものが無いからである。複数形の ci は、共時的にはまた序数詞語尾の -ci をも連想させるが、奪格助詞 ci は用いないのに序数詞語尾 -ci は用いる錫伯語にも複数用法の疑問詞+ci は無いようである。この点からも、複数用法の ci は接尾辞というよりは助詞に近いものであろう。

以上の論はすべて康熙朝の『満文金瓶梅』における事実であって、それ以外の文献、況やそれ以外の時代の満洲語に関しては何とも言えない。筆者は、烏拉熙春(1985 p. 248)の次の例で、「一人」であることが明らかである対象に weci が用いられている点に興味を持った。

A: tule emu niyalma duka hūlambi.

B: WECI.

C: bi takarakū, tere niyalma simbe baime ai gisun alanjiha sembi.

A: 外面有一人叫門。

B: 誰?

C: 我不認識, 那人說找你来告訴什麼話。

出典に気がつかなかったところ、久保智之氏に『満漢字清文啓蒙』(雍正8年【1730】序)巻2の45丁裏であることを指摘された。即ち次の処である。

tule emu niyalma duka hūlambi,	外頭有一個人叫門
WECI,	是誰
bi takarakū,	我不認的
eljitu si tucifi tuwana,	二吉兔你出去瞧
je,	哦
tule emu niyalma morin de yalufi,	外頭一個人騎在馬上說
age be baime aika gisun alanjiha sembi,	找阿哥告訴什麼話來了

『満文金瓶梅』は康熙47年(1708)序、『満漢字清文啓蒙』は雍正8年(1730)

序で、それほど年代に隔たりがあるわけではないが、『清文啓蒙』には種々の点で新しい所が有るのも事実である。なにごととも資料別に厳密に調査してみ  
る必要がある。

現代の錫伯語で、漢語の「哪幾個」に対して、yaciでなく ya udu の使わ  
れている例を見いだした。即ち、錫伯文の ajige tacikūi tacibcen (五年制小  
学課本1983年10月第1次印刷) bodocin (数学) の ningguci debtelin (第6冊)  
の44ページに次の問題があった。

fejergi geren joringga -i dendebure ton -i □ dolo, meimeni ya udu

下の各 問題の 被除 数の□の中にそれぞれどれどれの  
ton be dosibume araci teni juwangge oron de dendebun bimbi?

数 を 書き入れれば 十の 位 に 商が 立つか。  
ya udu ton be dosibume araci teni, damu emungge oron de  
どれどれの 数 を 書き入れれば 一の位にだけ  
dendebun bimbi?

商が 立つか?

$$(1) 74 \overline{) \square 02} \quad (2) 58 \overline{) 5 \square 2}$$

漢語版 (六年制小学課本 数学 第七冊 1986年第1次印刷) では以下の  
如くである。

在下面各題被除数的方框里, 分別填上哪幾個数字, 在十位上有商?  
填上哪幾個数字, 只在个位上有商?

【式は錫伯文のものと同じ】

## 5. 全用例

### WECI

(w1) si-men-king terei dorgi ioi-cūn be takame ofi  
西門慶は その中の 于春 を 知っておりますので

fonjime, suwe WECI ubade jihebi. ioi-cūn hendume,  
尋ねます「お前達 誰々が ここに 来ているんだ」于春が申します  
jai duwan-gin-ša, cing-niyei-yuwei tule aliyahabi.

「他に 段 錦 紗と青 聶 鉞が 外に 控えております」  
(15回18丁表) 西門慶, 只認頭一箇叫于春兒問, 你那幾箇在這裏,  
于春道, 還有段錦紗, 青聶鉞, 在外辺伺候

- (w2) si-men-king fonjime, enenggi uculehe juwe niyalma WECI  
西門慶が 尋ねます「今日 唄った 二人は 誰々  
bihe, li-ping-el hendume, dung-giyoo-el, han-gin-cuwan-el  
だった」李瓶児が申します。「董 嬌 児, 韓 金 釧 児の  
juwe nofi bihe  
二 人 でした」

(16回3丁裏) 西門慶因道, 今日唱的是那両箇, 李瓶児道, 今日  
董嬌児, 韓金釧児, 両箇

- (w3) u-yuwei-niyang uthai fonjime, juleri WECI  
吳 月 娘が 尋ねます。「表の方は 誰々が  
jihebi. dai-an hendume, kiyoo-da-ye, hūwa-da-ye,  
いらしてるの」玳安が申します「喬 大さま, 花 大さま,  
amba nakcu, jacin nakcu, siyei-ye, gemu jifi, kejine  
大舅さま, 二舅さま, 謝さま, 皆様 お見えになって, かなり  
goidaha.  
になっております」

(32回8丁表) 月娘便問, 前辺有誰来了, 玳安道, 喬大爹花大爹大  
舅二舅謝爹都来了

- (w4) ts'ai-juwang-yuwan fonjime, suweni dolo WECI šeng,  
蔡 狀 元が 尋ねます「お前達の中で 誰と誰が【各々】生と

dan uculembi, gebu ai, terei dorgi emu niyalma jabume,  
 且を唄うんだい。名前は何」その中の一人が 答えます。  
 buya niyalma bišeng uculembi, gebu geo-dz-hiyoo,tere emke  
 「わたくしは 生を唄います。名は 荀子孝です。あの者は  
 dan uculembi. gebu jeo-šün. emke tiyei-dan uculembi,  
 且を唄います。名は 周順です。あの者は 貼且を唄います。  
 gebu yuwan-yan. emke siyoo-šeng uculembi, gebu  
 名は 袁琰です。あの者は 小 生を唄います。名は  
 hū-dzoo,  
 胡慥です」

(36回10丁表) 蔡状元問道、那兩箇是生且、叫甚名字、内中一個説  
 道、小的粧生叫荀子孝、那一箇装且的叫周順、一個貼且叫  
 袁琰、那一個装小生的叫胡慥

(w5) u-yuwei-niyang fonjime, WECI tubade bi, cen-ging-ji  
 吳 月 娘が 尋ねます「誰々が あそこにいるの」陳敬濟が  
 hendume enenggi u-da-gio, hūwa-da-gio, ing jacin ecike,  
 申します「今日は 吳大舅さま、花大舅さま、 応 二 さん、  
 siyei ilaci ecike, jai li-ming, u-hūi juwe nofi bihe.  
 謝 三 さん、それに 李銘と 吳恵の 二 人がいました」

(39回22丁裏) 月娘問、今日有那幾個在那裏、敬濟道、今日有大舅、  
 和門外花大舅、 応二叔、 謝三叔、又有李銘、 吳恵、 兩個小  
 優児

(w6) bi geli juwe gise hehe be hūlame gamafi, muse emu inenggi  
 「俺がまた二人ばかり芸者を呼んで、 俺たち 一 日  
 sebjeleci antaka. siyei-hi-dai hendume, ahūn hendu,  
 遊んだらどうだい」謝希大が申します「兄貴おっしゃって下さいよ、

emu niyalma udu tucimbi. be gemu ahūn -i boode benjiki.

一人幾ら出すって。 あっしども兄貴のうちへお届けしますよ。

jai WE CI bi. si-men-king hendume, gūwa niyalma akū,

他に誰々が来るんです」西門慶が申しますには「ほかの奴はいないよ。

damu muse ilan duin niyalma, emu niyalma juwete jiha menggun

只 俺達 三 四 人だけさ。一 人 二銭ずつ 出資

tucici uthai isimbi.

すりゃあ、それで十分だ」

(61回22丁裏) 我還叫兩個妓者，咱要一日，如何，謝希大道，哥分

付人出多少資，俺每都送到哥這里來就是了，還有那幾位，

西門慶道再沒人，只這三四個兒，每人二星金銀子就勾了，

(w7) u-yuwei-niyang hendume, WECI tede gucu arame buda jembi.

吳月娘が申します「誰々があの人のお相手をしてご飯を食べるの」

dai-an hendume, amba nakcu, jacin nakcu teni jihe.

玳安が申します「大舅さまと二舅さまが今しがたいらっしゃいました。

wen-sefu, ing-el-ye, siyei-ye, han-hoki, efu, ejen be dabume

温先生と 応二さん，謝さん，韓どん，若旦那に 旦那様を 入れて

uheri jakūn niyalma.

ぜんぶで 八 人です」

(63回2丁表) 月娘問道，那幾個陪他吃飯，玳安道，大舅二舅纔來，

和温師父，連応二爹謝爹，韓夥計姐夫共爹八個人哩，

(w8) ing-be-jiyo fonjime, ere mudan de WECI genembi.

応伯爵が 尋ねます「今 度は 誰々が 行くんですか」

si-men-king hendume, ilan nofi gemu genembi.

西門慶が 申しますには 「三 人 とも皆 行くよ」

(66回2丁表) 伯爵問道，這遭把身那兩位去，西門慶道，三個人都去，

(w9) fonjime, jai geli WE CI bi. ing-be-jiyo hendume, jai  
 尋ねますには「ほかに誰々が来るんだ」応伯爵は 「ほかに  
 niyalma akū, damu mini beye, li-san be solifi age de gucu  
 誰も来ません。只 あっしと 李三君を 招んで 兄貴のお相手を  
 arambi. geli duin sargan jui be hūlafī, si-siyang-gi ucun  
 するだけです。それから四人 女 を呼んで 西廂記  
 be uculebumbi sehe.  
 を唄わせます」と申しました。

(68回4丁表) 問還有誰，伯爵道，再沒人，只請了我与李三相陪哥，  
 又叫了四箇女兒唱西廂記

(w10) si-men-king hendume, emu feniyen hai-yan -i bai hise be  
 西門慶が申します 「 海塩の地の芝居の一座を  
 hūlahabi. bi geli duin kumun -i juse be  
 呼ぶことになった。俺も 四人 唄い手 を  
 belhehebi, ing-be-jiyo hendume, age duin nofi serengge  
 用意しておいた」応伯爵が申します 「兄貴，四 人 てえのは  
 WECI. si-men-king hendume, u-hūi, šoo-fung, dzu-šūn,  
 誰々です」西門慶が 申しますには「吳惠，邵奉， 左順，  
 jeng-cūn.

鄭春だ」

(72回40丁裏) 西門慶道，叫了一起海塩子弟，我這里又預備四名小  
 優兒答应，伯爵道，哥那四個，西門慶道，吳惠，邵奉，鄭  
 春，左順，

(w11) ing-be-jiyo fonjime, enenggi agui sarin de WECI be  
 応伯爵が尋ねます 「今日 兄貴の 宴会には 誰々 を  
 solihabi. si-men-king hendume, lio, siowei juwe taigiyan,  
 お呼びになりました」西門慶が申します「劉，薛 両太監，

šuwai-fu yamun -i jeo amba niyalma, du-giyan hafan ging-nan-  
 帥 府の 周 大 人, 都 監 荆 南  
 giyang, fusihün -i gucu hafan hiya-tihing, tuwan-liyan jang-  
 江, 身 だ ち の 同 僚 夏 堤 刑, 団 練 張  
 dzung-bing, wei yamun -i fan-ciyan-hū, u amba age, u jacin  
 総 兵, 衛 の 范 千 戸, 吳 大 に い さ ん, 吳 二  
 age. jai kiyoo-loo enenggi bahafi jiderakū seme niyalma  
 に い さ ん だ。 喬 老 は, 今日 来 ら れ ない と 人 を  
 takūrafi alanjiha. juwe agu be dabume, damu ere emu udu  
 遣 わ し て 言 っ て き た。 君 達 二 人 を 入 れ て 僅 か に こ の 何 人 か の  
 antaha

お客さんだけさ」

(31回21丁裏) 伯爵因問, 今日哥席間, 請那幾位客, 西門慶道, 有  
 劉薛二内相, 帥府周大人, 都監荆南江, 敵同僚夏堤刑, 団  
 練張総兵, 衛上范千戸, 吳大哥, 吳二哥, 喬老便今日使人  
 来回了不来, 連二位通只数客,

- (w12) ing-be-jiyo fa -i dorgi ci sabufi hendume, juwe ajige garingga  
 応 伯 爵 が 窓 の 中 か ら 見 て, 「あ の 二 人 の す べ た め  
 teni jiheo sefi, dai-an -i baru hendume, tese be  
 今 ごろ 来 や が っ た か」と 言 っ て, 玳 安 に 申 し ます 「や つ ら を  
 taka ume amala unggire, neneme taktu de tafafi minde sabun-  
 暫 く 奥 へ 行 か す な。 ま ず 二 階 に 上 っ て 俺 に 挨拶 し に  
 jime jio se. siyei-hi-dai hendume, enenggi gajihangge WECl.  
 来 い と 言 え」 謝 希 大 が 申 し ます 「今 日 呼 ん だ の は 誰 々 だ い」  
 dai-an hendume, dung-giyoo-el, han-ioi-cuwan-el sefi,  
 玳 安 が 「董 嬌 兒 と 韓 玉 釧 兒 で す」と 言 っ て  
 (42回10丁表) 伯爵在窓裏看見說道, 兩子小淫婦見, 這咱纔来, 分

付玳安且別叫他往後辺去，先叫他樓上來見我，希大道，今日叫的是那兩個，玳安道，是董嬌兒，韓玉釧兒

(w13) si-men-king injeme hendume, si ili, piyoo bithe de geli

西門慶は笑いながら申します「立ちなさい。書き付けにはほかに

WECI gebu bi. li-gui-jiyei hendume, geli

誰々の名前が有ったんだい」李桂姐が申しますには「ほかに

ci-hiyang-el -i gebu bi,

齊香兒の名前がありました」

(51回15丁表) 西門慶笑道，你起来，因問，票上還有誰的名字，桂姐道，還有齊香兒的名字，

## YACI

(y1) u-in-el, u-yuwei-niyang ni baru fonjime, ama enenggi

呉銀二が呉月娘に尋ねます「旦那様は今日

YA CI hafasa be solifi sarilambi. u-yuwei-

どちらのお役人衆をお招きして宴会をなさいますの」呉月

niyang hendume, sini ama enenggi solihangge, gemu

娘は申します「旦那様が今日お呼びになったのはみんな

niyaman hūncihin, gucu gargan.

親類やお友達よ」

(32回7丁表) 呉銀二先問月娘，爹今日請那幾位官客吃酒，月娘道，你爹今日請的都是親朋

(y2) fonjime, YACI haha juse tubade bi. dai-an hendume,

尋ねます「どの小者どもがそこにいるんだ」玳安が

kin-tung, ki-tung neneme juwe denglu gamame genehe sehe.

「琴童と棋童が先に二つ提灯を持って行きました」と言いました

(35回33丁裏) 因問，那兩個小厮在那里，玳安道，琴童与棋童兒，

先拿兩個燈籠接去了,

- (y3) si-men-king donjifi hendume, enenggi sarin de YACI hehe antaha  
 西門慶は聞いて, 「今日の宴会には どの女のお客さん  
 sa bihe. u-yuwei-niyang hendume, šang-gioi-žin -i sargan,  
 方が来たんだい」呉月 娘が 「尚 拳 人 の 奥様,  
 ju-sioi-ban -i sargan, ts'ui hehe sadun, juwe sargan jui bihe,  
 朱 序 班 の 奥様, 崔親家のお母様と 二人の 娘 でした」  
 (41回11丁裏) 西門慶聴了道, 今日酒席上有那幾位堂客, 月娘道,  
 有尚拳人娘子, 朱序班娘子, 崔親家母, 两个姪女,

- (y4) si-men-king fonjime, si kemuni YACI ambasa -i  
 西門慶が尋ねます「お前さんは いつも どちらの お大人方の  
 boode feliyembi. wen-soo hendume, amba giya -i  
 家に入出入りしているんだい」文嫂が申しますには「大 街 の  
 han -i niyaman -i boo, šeobei hafan jeo-looye -i boo.  
 皇 族 の お宅, 守備府の 周老爺 の お宅。  
 kiyoo hala -i han -i niyaman, jang-el-looye, hiya-looye -i  
 喬 皇 親さま, 張 二老爺, 夏 老爺 の  
 boo be gemu takambi.

お宅はどれも 存じております」

- (69回 2 丁表) 西門慶因問, 你常在那幾家大人家走跳, 文嫂道, 就  
 是大街, 皇親家, 守備府周爺家, 喬皇親, 張二老爹, 夏老  
 爹家, 都相熟,

- (y5) wang-lu-el hendume, YA CI hehe antaha sa be soliha  
 王六児が申します「どちらの女のお客様方 を お呼びになった  
 bihe. si-men-king, tere, terebe soliha seme giyan giyan -i  
 のでしたの」西門慶が, 誰 誰を 呼んだ と 逐一

alaha manggi,

告げますと

(79回 8 丁裏) 婦人道, 請了那幾位堂客, 西門慶便說某人某人, 從頭訴一遍

(y6) nure teodere niyalma boo-el nure tebufi fonjime,

手 代の 保児が酒を注いでから 尋ねます

jacin ecike, YACI hehesi be gajifi uculebumbi,

「旦那, どの 女ども を呼んで 唄わせましょうか」

lio-el hendume, wang halangga booi loo-jiyei-el, joo

劉二が申します 「王 家の 老 姐 児, 趙

halangga booi giyoo-el, pan halangga booi gin-el, ioi-el

家の 嬌 児, 潘 家の 金児, 玉児

ere duin nofi be gaju,

この 四 人 を呼んでこい」

(94回26丁裏) 酒博士保児篩酒, 稟問二叔, 下辺叫那幾個唱的上來  
通酒, 劉二分付, 叫王家老姐児, 趙家嬌児, 潘家金児, 玉  
児, 四個上來,

## AICI

(a1) dai-an bithe jafafi, wang-joo-siowan booci doroi jaka

玳安が手紙を持って「王 招 宣の お宅から 贈物を

benjihebi seme alanjiha. si-men-king fonjime,

届けてよこしました」と言って来ました。西門慶は尋ねます

AICI doroi jaka, dai-an hendume, urgun -i doroi

「どんな贈物だ (贈物は何々だ)」玳安が申します「お祝いに

suje emke, julergi bai nure emu budun, duin hacin -i jetere

反物一つ 南の地方の酒 一 瓶, 四 色 の 食 べ

jaka benjihebi,

物を届けてよこしました」

(74回9丁表) 玳安拿進帖兒説，王招宣府送礼来了，西門慶問，是  
什么礼，玳安道，是贺礼，一疋尺頭一罇南酒四様下飯

## 引用文献

- 愛親覚羅・烏拉熙春 (1985) 『満語読本』 呼和浩特
- Cincius, V. I. (1985-77) *Sravnitel'nyj slovarj tunguso-manjchzhurskix jazykov*. Materialy k étimologičeskomu slovarju. Leningrad, v 2-x tomax.
- Gabelentz, H. C. von der (1864) *Sse-schu, Schu-king, Schi-king in Mandschuischer Übersetzung mit einem Mandchu-Deutschen Wörterbuch*. II. Heft. Wörterbuch. Leipzig.
- 羽田享 (1937) 『満和辞典』 京都
- Hauer, Erich (1952-55) *Handwörterbuch der Mandschusprache*. Tokyo-Hamburg-Wiesbaden.
- 久保智之 (1985) (書評) 愛親覚羅・烏拉熙春「満語語法」(1983) 『東洋学報』
- Norman, Jerry (1978) *A Concise Manchu-English Lexicon*. Publications on Asia of the School of International Studies, 32. Seattle-London.
- 田村実造・今西春秋・佐藤長 (1966-68) 『五体清文鑑訳解』 京都.
- Zacharov, Ivan (1875) *Polnyj Manjzhursko-russkij Slovarj*. Sanktpeterburg.

On Ablative-like Form of Interrogatives in Classic Manchu :

A Study based on the Manchu Version of the Golden Lotus

Teruhiro HAYATA

For the Manchu word *weci* all the Manchu dictionaries except four give explanatoins to the effect that “ablative form of *we*, from whom, in comarison with whom”.

The two dictionaries compiled in the Ching Dynasty, Da-Qing-Quan-Shu (prefaced in 1683) and Qing-Wen-Bu-Hui (prefaced in 1786), and

Hauer's dictionary say "who in plural sense", and Gabelentz's dictionary offers the German equivalent "wer" for *weci*.

The present author shows, based on the Manchu translation of the Golden Lotus (Gin-Ping-Mei Bithe) prefaced in 1708, that *weci* is almost always used as a plural form of *we*. *weci* is used in the Golden Lotus 14 times, once in the ablative meaning, 13 times in the plural sense.

The author considers that all the ablative forms of interrogatives in Manchu, at least of the Golden Lotus, have the function of plural in addition to the ablative.